

国際人権法学会 第25回研究大会（2013年度）

多層的人権保障システム研究グループ

2013年11月24日（日） 12:00～13:50

名古屋大学 第一会議室 B



テーマ：「国際人権法と多層的立憲主義の構想」

講師：齊藤正彰氏（憲法学 北星学園大学教授）

人権保障の実効性をどのように高めうるのか。
本研究グループは、人権保障システムを多層的に構築しうる可能性を
憲法および国際法の視点から検討し、
多層性はどのように人権保障の実効性を高めうるのかを
比較法的・実証的に検証することによって、
日本における人権保障の実効性を高める契機を見出すことを目的とします。
今年の第1回目は、
多層的人権保障システムの一般モデルを提示し、
イギリス、フランス、東欧諸国等の状況の紹介を通じ枠組みを概観しました。
第2回の本年は、
日本における国際人権規範の性質について、
憲法・国際法の交錯の中から検討します。
人権保障の実効性を高めるためにどんなシステムが有効か。
そのシステムを支える法論理とは。
多くの皆様の参加をお待ちします。

☆テーマに関連する論文や抜き刷り等がある参加者の方は、IG 会場で配布するコーナー
を設けますので、どうぞご持参ください。

【連絡責任者】 建石真公子 htateisi@hosei.ac.jp